

シリーズでご紹介している移住された方へのインタビューの第3回です。地域づくりは、地域の魅力を改めて知るところから始まります。移住された方のお話から、小野町の魅力を探してみましょう。

- ◆いつ小野町へ移住しましたか？
7年前に千葉県から移住しました。
- ◆なぜ移住しようと思いましたか？
化学肥料を使わず、消毒もしない自然農法による野菜づくりに興味を持っていました。しかし、自然農法では虫が寄ってくるので、周囲の人に迷惑をかけない広い土地を探していました。
- ◆なぜ小野町に決めましたか？
広くて安い土地があったので、小野町にしました。妻は、千葉からもっと近い方がいいと言っていました。二地域居住を経て、今は定住しています。野菜づくりも私以上に熱心にやっているようです。
- ◆知り合いがないところで生活するのは不安ではありませんでしたか？
特に不安はありませんでした。地主の方が農業について教えてくれましたし、お葬式の手伝いをしたことで近所の人に顔を覚えてもらいました。自分からどんどん地域に行きました。
- ◆小野町での生活はいかがですか？
小野町の寒暖の差がはっきりしている気候が野菜にとってはいいようです。においの強い、おいしい野菜が育ちます。宅配便で千葉の友人にも送っていますが、とても好評です。冬の寒さは厳しいですが、雪が少なく関東にも近いです、



斉藤光生さん、ひふみさんご夫妻

- ◆小野町の生活に満足しています。
小野町の魅力は何ですか？
空気がきれいなこと、景色がきれいなこと、星空が素晴らしいことだと思います。天の川がとても美しく見えました。
- ◆お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございます。



取材当日も、千葉県からご友人2名が畑作業のお手伝いに来ていました。色鮮やかな大きなパプリカが畑で育っていました。



はじめの演技でちょっとドキドキ



恐竜マッスルで大ハッスル!



リズムにのってノリノリ!

11月24日、ふれあい発表会が保育園の遊戯室で行われました。第一部では、大勢の人達を前に緊張し、いつもと違った雰囲気にもドキドキしている様子もありましたが、本番に強い子ども達はいつも以上にはりきっていたようです。そら組(5歳児)つき組(3・4歳児)ほし組(0・1・2歳児)の全園児による手あそびに始まり、そら組による打楽器演奏、男の子、女の子に分かれての遊戯。最後はそら組、つき組による『3びきのごぶた』の劇。一人ひとりが主役で、なごやかな発表会となりました。

第二部の写真上映では、一枚一枚写真が映るたびに子ども達から歓声があがり、『あっ、僕だ!』と喜んだり、に緊張し、いつもと違った雰囲気にもドキドキしている様子もありましたが、本番に強い子ども達はいつも以上にはりきっていたようです。そら組(5歳児)つき組(3・4歳児)ほし組(0・1・2歳児)の全園児による手あそびに始まり、そら組による打楽器演奏、男の子、女の子に分かれての遊戯。最後はそら組、つき組による『3びきのごぶた』の劇。一人ひとりが主役で、なごやかな発表会となりました。

楽しかった発表会 夏井おおすぎ保育園